

離島・地域医療実習

2017年3月～2017年6月

対象:医学部医学科6年生(合計114名)

於:鹿児島県内の離島・各地域

実習施設:鹿児島県内の各医療機関

趣旨

医学部を卒業して医師として社会に貢献するには、医学的知識・技術だけを身につけるだけでは十分ではない。医師の日常活動や役割に関わってくる基本となる能力・知識・技術・思考・行動が組み合わさったものは、医師に求められる多角的能力であり、その能力を修得するようにならなければならない。

離島・地域医療実習を通じて、医師の多角的能力を理解し、さらに他職種の仕事を知ることで多職種連携への洞察を深めるようにする。

このことで、医師に求められる多角的能力を常に意識しながら、今後の医師としての学習を進めることができるようになる。

学習目標

【一般目標】

離島へき地を含む地域社会で求められる医療・保健・福祉・介護の活動について学ぶ。

【行動目標】

1. 離島へき地のプライマリ・ケアを述べることができる。
2. 離島へき地の救急医療を述べることができる。
3. 離島へき地の保健・福祉・介護を述べることができる。
4. 地域における在宅介護を述べることができる。
5. 離島へき地での遠隔医療を述べることができる。
6. 離島へき地医療現場を通じて医療の原点に立ち返り、全人的医療を述べることができる。

実習の内容・方法

【実習内容】

離島へき地における地域包括医療を理解するために、離島医療現場の医師と一緒に行動しながら、離島医療システムや現場における医師の役割を修得する。外来診療、巡回診療や訪問診療では様々な科にまたがる患者さんを通じてプライマリ・ケアを体験する。

また、デモ症例を用いた遠隔医療も体験する。また、離島医療で重要である保健・福祉分野における医師の役割についても体験し、理解を深める。これらの体験を通じて、医師のあるべき姿やどのような医師になりたいのかについて考えてもらう。

【実習方法】

指定された5期間のうち1つの期間に1つの医療機関群で実習を行う。事前にwebで個人プロフィール情報を収集し、実習先に送付する。また、離島医療や実習に関する事前と事後アンケートを行い、実習の評価と今後の改善に利用する。

実習日程・医療機関・参加人数

		3月13日 ~3月17日	3月27日 ~3月31日	4月10日 ~4月14日	4月24日 ~4月28日	5月15日 ~5月19日	5月29日 ~6月2日	6月12日 ~6月16日	6月26日 ~6月30日
奄美大島	ファミリークリニック ネリヤ、 鹿児島県立大島病院							1名	
	奄美市住用国民健康保険診療所、 鹿児島県立大島病院					2名			
	瀬戸内へき地診療所 鹿児島県立大島病院				1名			2名	
	大和村国民健康保険大和診療所 鹿児島県立大島病院								2名
徳之島	宮上病院				2名		1名		
冲永良部島	朝戸医院	2名		2名		2名	2名	2名	2名
	大蔵医院	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
上甑島	薩摩川内市里診療所	2名	2名	1名	2名			2名	1名
	薩摩川内市上甑診療所	3名		3名	3名	2名	3名	3名	3名
下甑島	薩摩川内市下甑 手打診療所	3名	3名	3名	2名		3名	1名	
種子島	種子島医療センター、 種子島産婦人科医院、 訪問看護ステーション 野の花、 介護老人福祉施設 百合砂苑、 田上診療所、わらび苑	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	1名
垂水市	垂水市立医療センター 垂水中央病院	1名	1名						
出水市	出水総合医療センター、 高尾野診療所、野田診療所			1名	1名				1名
さつま町	薩摩郡医師会病院					3名			

鹿児島大学医学部実習参加人数 114名



お世話になった先生方と



採血の様子



訪問診療の様子



音楽教室の様子